

災害・オウム対策調査特別委員会 報告資料

令和6年4月24日

報告事項件名	頁
1 アレフ（オウム真理教）対策について	2
2 水害時福祉避難所の追加について	3
3 令和5年度足立区防災士研修会の実施結果について	5
4 区長と女性防災士等との意見交換会の実施結果について	7
5 旧入谷南小学校跡地に係る災害対策拠点施設の整備について	9

(危機管理部)

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和6年4月24日

件名	アレフ（オウム真理教）対策について
所管部課名	危機管理部 危機管理課
内容	<p>足立入谷地域オウム真理教（アレフ）対策住民協議会の活動について、次のとおり報告する。</p> <p>1 舎人公園千本桜まつりへの出展</p> <p>(1) 日時 令和6年3月23日（土）、24日（日）</p> <p>(2) 場所 都立舎人公園</p> <p>(3) 内容 住民協議会の活動紹介、PR</p> <p>2 令和6年度総会（予定）</p> <p>(1) 日時 令和6年5月13日（月）午後6時30分</p> <p>(2) 場所 舎人地域学習センター学習室1・2</p> <p>(3) 内容 令和5年度事業報告・決算報告 令和6年度事業計画・予算 役員改選</p>

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和6年4月24日

件名	水害時福祉避難所の追加について				
所管部課名	危機管理部 総合防災対策室 災害対策課、福祉部 福祉管理課 地域のちから推進部 生涯学習支援室 生涯学習支援課 衛生部 衛生管理課、都市建設部 都市建設課				
内容	<p>個別避難計画の避難先となる水害時福祉避難所について、今後、不足が見込まれるため、令和6年度より3施設を追加し、11施設とする。</p> <p>なお、ストレッチャー使用の方の水害時福祉避難所については、竹の塚保健センターを追加する。</p> <p>1 追加する水害時福祉避難所</p> <p>(1) 佐野地域学習センター (2) 東和地域学習センター (3) 竹の塚保健センター（ストレッチャー使用の方） ※ 令和6年度水害時福祉避難所一覧は別紙参照</p> <p>2 選定理由</p> <p>(1) 佐野地域学習センター、東和地域学習センターについては、現在、綾瀬川より東側に水害時福祉避難所がないことから指定した。 (2) 竹の塚保健センターについては、ストレッチャーが入る大きさのエレベーターがあることから指定した。</p> <p>3 今後のスケジュール（予定）</p> <table border="1" data-bbox="434 1384 1382 1552"> <tr> <td data-bbox="434 1384 683 1444">令和6年4月</td> <td data-bbox="683 1384 1382 1444">要支援者の避難先振り分け</td> </tr> <tr> <td data-bbox="434 1444 683 1552">5月</td> <td data-bbox="683 1444 1382 1552">備蓄の配備、避難所開設・運営手順書の作成、水害時派遣職員による現地確認</td> </tr> </table> <p>4 今後の対応について</p> <p>(1) 水害時福祉避難所に指定の地域学習センターについては、次回のハザードマップ増刷時に施設一覧に注記を行うとともにHPで周知していく。</p> <p>(2) 水害時個別避難計画の作成が進み、さらに水害時福祉避難所が不足する場合には、新たな施設の追加を検討する。</p>	令和6年4月	要支援者の避難先振り分け	5月	備蓄の配備、避難所開設・運営手順書の作成、水害時派遣職員による現地確認
令和6年4月	要支援者の避難先振り分け				
5月	備蓄の配備、避難所開設・運営手順書の作成、水害時派遣職員による現地確認				

	総合スポーツセンター	障がい福祉センター あしすと	こども支援センター げんき	谷在家障がい福祉施設	花畑学園	足立特別支援学校
想定浸水深 (荒川)	0.78m	4.38m	4.97m	2.14m	1.44m	1.3m
浸水 継続時間	1日5時間	2日12時間	2日7時間	1日23時間	1日18時間	1日以上3日未満
利用可能 フロア	2階以上/5階	3階以上/4階	3階以上/5階	2階以上/4階	2階/3階	2階以上/3階
受入想定 人数	(要配慮者)150人 計334人	(要配慮者)67人 計145人	(要配慮者)35人 計94人	(要支援者)41人 計123人	(要支援者)31人 計62人	(要支援者)43人 計86人
駐車場	地上駐車場、多目的広場 地下駐車場	地上駐車場 数台分	地上駐車場 数台分	なし	地上駐車場 数台分	地上駐車場 数台分
担当部	地域のちから推進部	福祉部	教育指導部・学校運営部	福祉部	福祉部	区民部
派遣職員数	25人×2班 〔保健師：各班10人〕	8人×2班 〔保健師：各班2人〕	8人×2班 〔保健師：各班2人〕	8人×2班 〔保健師：各班2人〕	16人×2班 〔保健師：各班10人〕	8人×2班 〔保健師：各班2人〕
段ボールベッド	100台	50台	30台	なし	50台	なし
エレベーター	1基(ストレッチャー×)	1基(ストレッチャー○)	1基(ストレッチャー×)	1基(ストレッチャー○)	1基(ストレッチャー○)	1基(ストレッチャー×) ※ 校舎のみ


	竹の塚地域学習センター	舎人地域学習センター
想定浸水深 (荒川)	1.10m	0.58m
浸水 継続時間	1日以上3日未満	12時間~1日
利用可能 フロア	2階以上/5階	2階以上/3階
受入想定 人数	(要配慮者)24人 計48人	(要配慮者)24人 計48人
駐車場	地上駐車場 10台分	地上駐車場 19台分
担当部	福祉部	地域のちから推進部
派遣職員数	6人×2班 〔保健師：各班2人〕	6人×2班 〔保健師：各班2人〕
段ボールベッド	なし	なし
エレベーター	1基(ストレッチャー×)	1基(ストレッチャー×)

追加する避難所⇒

	佐野地域学習センター	東和地域学習センター	竹の塚保健センター
想定浸水深 (荒川)	2.93m	3.61m	2.1m
浸水 継続時間	2日7時間	2日16時間	1日以上3日未満
利用可能 フロア	2階以上/3階	3階のみ/3階	2階/2階
受入想定 人数	(要配慮者)24人 計48人	(要配慮者)24人 計48人	(要配慮者)10人 計20人
駐車場	地上駐車場 12台分	地上駐車場 13台分	立体駐車場 ※ストレッチャー車両不可
担当部	子ども家庭部	衛生部	衛生部
派遣職員数	6人×2班 〔保健師：各班2人〕	6人×2班 〔保健師：各班2人〕	4人×2班 〔保健師：各班2人〕
段ボールベッド	なし	なし	なし
エレベーター	1基(ストレッチャー×)	2基(ストレッチャー×)	2基(ストレッチャー○) ※ ストレッチャー可は1基

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和6年4月24日

件名	令和5年度足立区防災士研修会の実施結果について
所管部課名	危機管理部 総合防災対策室 災害対策課、防災対策担当課
内容	<p>防災士を対象とした足立区防災士研修会を実施したため、以下のとおり報告する。</p> <p>1 研修について</p> <p>(1) 日時 令和6年3月10日(日) 午後2時から4時15分</p> <p>(2) 場所 足立区役所中央館2階庁舎ホール</p> <p>(3) 内容 ア 足立区総合防災行政アドバイザー松尾一郎氏の講演 イ ワークショップ ウ あだち防災リーダーガイダンス</p> <p>2 参加対象者</p> <p>(1) NPO法人足立区日本防災士の会所属の防災士(119人) (2) 区で費用助成した防災士(298人) ※ (1)と(2)で一部重複あり</p> <p>3 参加者数 85名(男性65名、女性20名)</p> <p>4 会場の様子</p> 

5 研修内容

(1) 講演テーマ

ア あだちタイムラインと防災力の強化について【水災】

イ 避難所運営におけるコミュニティの在り方【震災】

(2) ワークショップ

上記ア、イのテーマについて、ワークショップを実施した。

(3) あだち防災リーダーのガイダンス

地域の防災リーダーになって活動してもらうため「あだち防災リーダー」制度のガイダンスを行った。

6 ワークショップについて

区職員がファシリテーターを務め、事前に選択したテーマについて、防災士の視点で活発な意見が交わされ、防災士に求められている役割や課題などを明確にすることができ、たいへん有意義なワークショップとなった。

7 アンケートについて

参加された方にアンケートを提出していただいた。その中で、あだち防災リーダーについての主な内容を報告する。

(1) あだち防災リーダーについて

「興味を持てた」と回答した防災士は47名だった。

(2) 主な内容

内 容
足立区は、防災士に避難所の運営と区民の誘導を確実に行ってほしいと考えていることがわかり、納得した。
タイムラインと防災力の強化について、考えていきたい。
防災士が地域にもっと入っていくべきと考える。
町会としての防災士の役割がどのような事があるかワークショップを通して各自の意見を聴き、参考になった。

8 研修を終えて

(1) 防災士の意見交換の場として、非常に有意義な研修会となった。

(2) アンケート結果より、意識の高い回答があったことから「あだち防災リーダー」に繋げていきたい。

9 今後について

令和6年6月以降に、あだち防災リーダーに興味を持っていただいた方々に対して説明会を開催し、活動を開始する。

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和6年4月24日

件名	区長と女性防災士等との意見交換会の実施結果について
所管部課名	危機管理部 総合防災対策室 災害対策課
内容	<p>避難所運営や避難生活、さまざまな防災対策に女性の視点を反映させるため、区長と女性防災士・避難所運営本部スタッフによる意見交換を実施したことから、以下のとおり、報告する。</p> <p>1 開催日時 令和6年3月21日（木）午後6時30分～7時30分</p> <p>2 会場 足立区役所中央館8階 特別会議室</p> <p>3 参加者 (1) 女性防災士 4名 ※のうち3名が避難所運営本部に所属 (2) 区 7名 区長、工藤副区長、危機管理部長、地域のちから推進部長 災害対策課長、地域調整課長、防災力強化担当課長</p> <p>4 参加者の主な選定理由 (1) 防災士の資格を有する。 (2) 避難所運営本部または町会・自治会で活動している。 (3) 所属する避難所運営本部や町会・自治会のエリアに偏りが生じないよう考慮した。</p> <p>5 当日の進行 (1) 開会挨拶 (2) 自己紹介 (3) 意見交換・懇談</p> <p>6 参加者から出た主な意見 (1) 女性防災士から出た意見 ア 男女の役割にこだわらず何をしなくてはいけないかを女性も知っておくべき。</p>

- (2) 若い世代に協力してもらうための方策はないか。
- ア 子どもが集まると親がついて来るので、いかに子どもを巻き込むかが重要。
 - イ 学校に合同訓練を申し込んだところ、年間で防災に関する授業が決められており、断られた。
- (3) 要配慮者への課題は何か。
- ア 高齢者、障がい者、子どもは避難所でも守るべき方々です。しかし、何を準備して避難所に行けばよいかの情報を知ることが課題。
 - イ 介護が必要な方も避難所に行けば何でもしてもらえるわけではないという知識を持ってほしい。
- (4) 区は、ペットの同行避難を推奨している。来年度は避難所のマニュアルを作ろうと考えている。避難所で意見交換されていることはあるか。
- ア ある避難所では、一般と発熱者、介護者の受付を分け、ペットはもう一つ別の受付を作った。
- (5) 令和元年の第19号台風では、実際にペット同伴で来た人はいるのか。また、どのような対応を行ったのか。
- ア アレルギーということを考えると学校は子どもが来る場所なので、居室には入れなかった。マニュアルを作成して理科室にペットを入れてもいいとなっており、入口も別になっている。

7 今後の方針

- (1) 令和7年度に修正する足立区地域防災計画に備蓄や避難所運営など女性の視点を反映させる。
- (2) 結果の検証を行い、今後の開催について検討する。

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和6年4月24日

件名	旧入谷南小学校跡地に係る災害対策拠点施設の整備について										
所管部課名	危機管理部 総合防災対策室 災害対策課、危機管理課 総務部 資産管理課、資産活用担当課										
内容	<p>1 近隣住民説明会の開催について</p> <p>旧入谷南小学校跡地に係る災害対策拠点施設の整備については、令和6年1月に発生した能登半島地震の教訓を踏まえ検討を進めており、基本的な活用方針（案）をまとめ、改めて施設の一部活用の可能性について民間事業者へヒアリングを実施した。については、地域の皆さまのご意見をお伺いし、整備手法を検討するために近隣住民説明会を下記のとおり開催する。</p> <p>(1) 開催日時（予定）</p> <p>ア 第1回近隣住民説明会 令和6年5月31日（金）午後 6時30分から</p> <p>イ 第2回近隣住民説明会 令和6年6月 1日（土）午前10時00分から</p> <p>(2) 開催場所 入谷中学校体育館（両日） ※ 事前申し込み不要（当日会場にて受付）</p> <p>(3) 主な説明内容</p> <p>ア 基本的な活用方針（案） イ 事業者ヒアリングの結果 ウ 今後のスケジュール</p> <p>2 今後のスケジュールについて（予定）</p> <table border="1" data-bbox="416 1529 1481 1816"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>基本計画（※1）の策定</td> </tr> <tr> <td>令和7～8年度</td> <td>基本設計、実施設計</td> </tr> <tr> <td>令和9～10年度</td> <td>新設工事</td> </tr> <tr> <td>令和11年度以降</td> <td>施設開設</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 地元説明終了後、補正予算計上予定</p> <p>3 今後の方針について</p> <p>地域や議会のご理解を頂きながら、災害対策拠点施設の整備に向けて検討を進めていく。</p>	年 度	内 容	令和6年度	基本計画（※1）の策定	令和7～8年度	基本設計、実施設計	令和9～10年度	新設工事	令和11年度以降	施設開設
年 度	内 容										
令和6年度	基本計画（※1）の策定										
令和7～8年度	基本設計、実施設計										
令和9～10年度	新設工事										
令和11年度以降	施設開設										

参考 基本的な活用方針（案） ※ 令和6年3月22日同委員会にて報告済み

項 目	内 容
施設規模	<p>1～2階建て</p> <p>(1) 1階部分 地域内輸送拠点 約4,000㎡ 都の広域輸送基地から供給される物資を受け入れ、区内避難所へ物資を送り出すために設置する拠点とし、緊急物資等の受入れ、保管、荷捌き、区内避難所等への輸送を行う。</p> <p>(2) 2階部分 災害備蓄倉庫 約4,000㎡ 2日目と3日目分に相当する食糧、水等（1日目分は各避難所に配備済みのため）を配備する予定。 具体的な量については、アルファ化米848,900食（16,978箱）、水904,212L（75,351箱）分を想定。なお、今後の備蓄物品の増配備を勘案し、4,000㎡（体育館500㎡相当8個分）以上のスペース確保についても検討していく。</p> <p>※ 民間活用での可能性が低いため、基本的に区の災害対策拠点施設単独での整備を想定。</p> <p>※ 地域開放型の小会議室を設置予定であり、平時での利用を想定。</p>
敷 地	<p>約1万㎡</p> <p>※ 敷地内に10tトラック（12m）が旋回し、駐車できるスペースを確保</p>
整備方法	<p>区直営またはPFI手法などの民間活用</p> <p>※ 構想・設計・建設の一括発注も検討</p>
整備期間	<p>設計2年、工事2年の4年程度要する見込み</p> <p>※ PFI手法で整備する場合、期間短縮の可能性あり</p>
運営方法	<p>区が主体となって運営 ※ 管理は委託等も検討</p>

参考 案内図



参考 これまでの経緯

昭和57年	3月	学校建設竣工
平成13年	3月	学校統合により廃校。以降、KITクラブ21や地域団体などの利用をはじめ、学校施設管理課が管理する倉庫として利用を継続。
平成30年	8月	体育館天井から仕上げ材が剥落し、体育館の利用停止。
令和元年	12月	校舎解体工事着手
令和3年	2月	基本構想(案)の策定
令和3年	3月	校舎解体工事完了
令和4年	3月	サウンディング型市場調査を実施
令和4年	4月	サウンディング型市場調査の結果公表 舎人地区町会自治会連絡協議会へ説明
令和4年	5月	近隣住民説明会の実施
令和4年	6月	地元関係団体との意見交換